令和7年度 春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」実施事業一覧(1/6)

No	事業名	市民活動センター「6つ」の機能 1. 市民活動の窓口、相談、支援機能 2. 情報収集・提供・発信機能 3. 交流・ネットワーク機能 4. 活動拠点及び事務所機能 5. 市民活動に関する学習・研修機能 6. マッチングと協働支援の機能 ◎＝主に担う機能(1つ) ○＝相応に担う機能(複数可)						目的 目標	実施状況／実施内容等	課題と今後の対応
		1	2	3	4	5	6			
1	利用者会議		○	○	◎			【目的】 利用者との意見交換の場をつくり、公正かつ透明な運営を実現する。 【目標】 年4回（各回2日）の開催、各回参加者20名以上	第1回：6月8日／6月12日　（参加者：28団体37名） 第2回：8月16日／8月20日　（参加者：50団体70名） 第3回：10月26日／10月29日（参加者：53団体77名） 第4回：2月8日／2月12日　（参加者：29団体36名） ・参加団体間の交流を促すためにグループ形式の座席配置で実施した他、ぽぽらフェスティバルの説明会と同時に開催。	【課題】 毎回参加者は人数が集まる様になったが、参加者が固定化しないように配慮が必要。 【今後の対応】 新規団体登録時に、年に1回は利用者会議に参加する事を要請していく。
2	利用者 アンケート				◎			【目的】 センターへの評価や意見を収集し、結果を公正かつ透明な運営に活かす。 【目標】 回答数200以上	1．上期アンケート（7月27日～8月31日実施） 回答数：205件（用紙回答81、Web回答123） 評価：施設満足度97%、職員満足度95%、 事業満足度65%(未記入回答を除いた場合は96%） 2．下期アンケート（2月2日～3月8日実施） 回答数：170件（用紙回答98、Web回答72） 評価：施設満足度97%、職員満足度96%、 事業満足度55%（未記入回答を除いた場合は97%）	【課題】 事業満足度の項目に未記入回答が多いため、回答率の向上に工夫が必要。 【今後の対応】 回答欄に実施事業の補足説明を加える等の工夫を検討
3	市民活動講座	○	○			◎		【目的】 市民活動に役立つ各種講座を開講し、市民活動の継承やステップアップにつなげる。 【目標】 事業終了後のアンケート満足度70%以上	1．5月28日『伝わるデザイン講座』（参加者：19名、満足度：70.6%） チラシ、ポスター等を作成する為の講座、デザインアプリＣａｎｖａの使い方 2．9月17日／24日、10月15日／22日 『スマートフォンを使いこなそう』（参加者：34名、満足度：62.5%） 総務省デジタル活用支援講座を２週連続講座として２回実施し、「社会生活とデジタル活用」という関心の高いテーマを切り口に、市民活動への興味を喚起 3．11月22日『はじめての助成金』（参加者：16名、満足度：93.7%） 埼玉県共助社会づくり推進委員　埼玉県共助社会づくり仕掛人川名千鶴子氏を講師に迎え、助成金の基礎知識、助成金申請の実際、申請書作成のポイントなどの講座を実施 ４．1月31日　『NPO法人・会計基礎講座』（参加者：21名、満足度：81.3%） 埼玉県東部地域振興センター及び利根地域振興センターと共催で、公認会計士を講師に招き、ＮＰＯ法人向けの会計講座を実施。個別相談にも対応。	【課題】 昨年度の課題を踏まえ、登録団体の活動基盤の向上を意図した講座を多く実施。一般向けの講座は多くの参加者が集まるが、市民活動団体をターゲットとした講座には参加者が集まりにくい傾向がある。 【今後の対応】 活動の拡大や効率化を目指す登録団体に向けて参加促進の声掛けを継続していく。

令和7年度 春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」実施事業一覧(2/6)

No	事業名	1	2	3	4	5	6	目的 目標	実施状況／実施内容等	課題と今後の対応策
4	協働を 促す企画			○			◎	【目的】 さまざまな課題を解決するため、市民活動団体や企業、自治会等とのコーディネートを行い、協働のきっかけをつくる。 【目標】 年4回以上実施	1．3月27日～12月12日「ぽぽらフェスティバル2025」実行委員会の運営支援 参加団体による主体的な協働運営を促すために実行委員会を組成。 春日部市歩こう会、ザ・スプリングCDT、ボーイスカウト春日部第9団 Youth initiative、春日部ふれあい歴史塾 以上、5団体7名から成る実行委員会（8回開催）の企画運営を事務局としてサポート 2．8月2日「ぽぽらであそぼう！」こども支援団体による協働の場づくり 春日部こどもライブフェスタ実行委員会（春日部おやこ劇場・水創スタジオ YOU&I・ふれあい大学39期同期会・八木崎小サポーターズ）及び カーレット春日部・春日部おもちゃの病院・松実高等学校との協働 3．9月1日～9月28日、かすかべ環境展 9月27日実施の環境講演会に合わせて、かすかべ環境展を実施。 環境関係に取り組む団体が、協働してパネル展示を実施 彩の国環境大学修了生の会、春日部C工房、日本環境マネジメント株式会社 埼玉県生態系保護協会、埼玉りそな銀行春日部支店、以上5団体との協働 4．11月30日、こどもライブフェスタ2025 こどもたちと街に繰り出す忍者修行と多目的ホールでワークショップを実施 春日部こどもライブフェスタ実行委員会、ふれあいキューブとの協働 5．3月16日～22日、第7回かすかべ環境フェア かすかべ環境ネットワーク加盟団体による活動紹介の展示を交流MSで実施 彩の国環境大学修了生の会・日本環境マネジメント株式会社 埼玉県生態系保護協会・春日部市環境政策課との協働	【課題】 市民団体同士の協働の場はつくれているが、企業や大学等、地域の幅広い主体と協働するためのきっかけも必要。 【今後の対応】 企業や大学等も参加できるイベントを企画していく。
5	市民団体 交流会			◎			○	【目的】 登録団体がお互いを知り、連携につながる場や機会を提供する。 【目標】 15団体以上の参加	3月7日（土）防災講座と団体交流会を実施 座学だけでなく防災食を試食するなど動きのある講座にすることで、団体間の交流を図った。15団体26名が参加。	【課題】 要望の多かった「防災」をテーマにしたが、他施設との重複により新味に欠け、交流会自体の意義が薄れた点が課題。 【今後の課題】 単なる親睦会に留まらず、「なぜ今この交流が必要なのか」という目的を明確に打ち出した企画立案を行う。

令和7年度 春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」実施事業一覧(3/6)

No	事業名	1	2	3	4	5	6	目的 目標	実施状況／実施内容等	課題と今後の対応策
6	周年記念 イベント 「ぽぽらフェス ティバル」	○		○		◎		【目的】 多くの市民に市民活動を周知し、活動への参加のきっかけをつくるとともに、活動発表の場を提供することによって市民活動の継承を図る 【目標】 56団体（昨年）以上	12月6日（土）7日（日）開所14周年記念ぽぽらフェスティバル2025開催 ・ふれあいキューブフェスティバル・健康フェアと同時開催 ・参加団体数57、出展数64（リヤカーゴを除く） ・2日間、4階来場者数3,740名（カウンター数）全体来場者数12,009名 スタンプラリーカード配布1,210枚⇒GOAL数856名 大学生のボランティアスタッフ2名の参加有り	【課題】 出展団体同士の交流も深まり、来場者にも話をよく聞いて頂けたともあり、出展団体からの満足度の高いフェスティバルとなっているため、活動発表の場として継続して実施していくことが望ましい。 【今後の対応】 来年度、開所15周年記念事業としての企画を盛り込み実施する。
7	月間イベント	○	○			◎		【目的】 共催事業として活動を実践・発表・報告する機会を提供し、各々の市民活動団体がステップアップしていくことを目指す。 【目標】 24回実施（昨年18回）	実施件数26件 4月：粕壁写真クラブ「友好写真展」 灯り（1983）「おとなのための折り紙教室」 5月：春日部市国際交流協会「多文化交流サロン」 6月：NPO法人子ども支援プラットフォーム「子ども・若者への居場所支援」 絵手紙桐の会「桐の会絵手紙展」 7月：グローバルファミリー 「ウクライナの子どもたちの絵画展」 8月：春日部失語症友の会「高次脳機能障害を知ろう！」 こどもさあくる。「クワガタカブトムシ展」 平和・民主・革新の日本をめざす春日部の会「平和をねがう原爆展 in 春日部」 Life Connect＋1「うちの子まもりたいむ」 9月：NPO法人子ども支援プラットフォーム「外国にルーツを持つ子どもへの支援」 彩の国環境大学修了生の会「こどもＳＤＧｓ」 春日部市国際交流協会「多文化交流サロン水引講習会」 ヒッポファミリークラブ春日部「はじめての多言語」 粕壁写真クラブ「春日部を感じる寺社写真展」 11月：春日部九条の会「平和のための学習会」 AA春日部グループ「オープンスピーカーズミーティングそれぞれの回復」 NPO法人春日部地域資源振興会「押絵羽子板づくり」 春日部市国際交流協会「多文化交流サロン」 NPO法人子ども支援プラットフォーム「不登校の子どもへの成長支援学習会」 12月：春日部市身体障害者福祉会「書道展」 春日部市発達凸凹キッズ親の会「遊びで発見！凸凹っ子の感じ方動き方」 2月：NPO法人子ども支援プラットフォーム「地域連携による障害児/者支援」 経営革新塾しよう会「特別講演会乳児院ってどんなところ？」 春日部手話サークル「映画上映会わたしたちに祝福を」 3月：NPO法人つきぐるみ「春休み　中高生フリースペース」	【課題】 実施団体を固定化せずに、幅広く多くの団体に活用されるようにしていく必要がある。 【今後の対応】 利用団体に向けて積極的に月間イベント制度をＰＲしていく。館内のポスターを新しく目立つものに刷新する。

令和7年度 春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」実施事業一覧(4/6)

No	事業名	1	2	3	4	5	6	目的 目標	実施状況／実施内容等	課題と今後の対応策
8	情報発信	○	◎			○		【目的】 より多くの市民に情報を届け、市民活動に興味を持ち、参加してもらうきっかけをつくる。 【目標】 X フォロワー数 1,000 名以上 メールマガジン購読者 200 名以上	1．広報誌ぽぽらだより年 4 回発行　各 2500 部を市内公共施設等に配架 春号（4 月 22 日）夏号（8 月 14 日）秋号（11 月 21 日）冬号（1 月 30 日） 2．ホームページによる情報発信（年度実績/前年対比） ・登録団体からの情報発信数：337 件（+101 件） ・ページ閲覧数：54,472 件（+13,498 件） 3．ＳＮＳによる情報発信（年度末実績/前年対比） ・Facebook フォロワー：272（＋36） ・X フォロワー：874（＋83） 4．メールマガジンによる情報発信（年度末実績/前年対比） ・購読者数 189 名（＋76 名）	【課題】 ホームページの情報発信数、SNS フォロワー、メールマガジン購読者は着実に増加傾向。 SNS での発信内容に関して掲載可否の判断が難しい内容もあり、最低限のルールが必要。 【今後の対応】 令和 8 年度より Instagram を開設。また、SNS 規定を定め運用を開始。公平性を保ちつつ戦略的な情報拡散を追求する。
9	相談事業	◎	○	○				【目的】 市民活動の立ち上げから運営まで、さまざまな相談に対応し、個別の支援ニーズに対応する。 【目標】 相談件数 100 件	1．随時相談対応実施、相談件数 86 件（年度末現在、前年差▲4 件） 2．前年より継続してスマホサロンを随時実施 （埼玉県立大学ボランティアサークルとの協働） 6 月 29 日、10 月 5 日、12 月 7 日（ぽぽらフェスティバル）実施　参加者 60 名	【課題】 団体登録に関する相談が多いが、市民活動団体として認めてよい活動かどうかの判断に迷うケースが多くある。 （非営利な活動か、宗教活動ではないか、など） 【今後の対応】 相談内容のケーススタディをスタッフや所管課とも共有し継続的に検討していく。
10	運営パートナー制度	○			◎		○	【目的】 施設の運営に市民も参加してもらうことで、より公正で開かれた施設の実現に寄与する。 【目標】 運営パートナー会議 2 回実施	今年度稼働運営パートナー：14 名、稼働日数延べ 103 日（年度実績） 印刷パートナー：印刷室内の機器の使い方を教え、印刷のサポートを行う 編集パートナー：ぽぽらだより紙面の企画立案および取材・記事作成、 写真撮影等のサポート イベントパートナー：利用者会議やぽぽらフェスティバル等のサポートを行う 館内装飾パートナー：折り紙・バルーンアート等で施設内装飾を行う ・運営パートナー会議開催：10/1（参加者 11 名）、2/25（参加者 11 名）	【課題】 運営パートナーが高齢化しているため、新しく参加するパートナーを募集していく必要がある。 【今後の対応】 来館頻度の高い利用者を中心に声をかけていくと同時に、継続的に幅広く募集を行う。

令和7年度 春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」実施事業一覧(5/6)

No	事業名	1	2	3	4	5	6	目的 目標	実施状況／実施内容等	課題と今後の対応策
11	モヤモヤカフェ	○		◎				【目的】 個人や団体がゆるやかにつながることを通じて、それぞれの活動が活発化し、広がることを目指す。 【目標】 年6回以上実施	身近で活動している市民をゲストに招き、対話を通じて、地域の課題や活動に関心を向けてもらう。 7月20日：こども食堂と仲間づくり/ペットとまちづくり 8月23日：わたしの基地デザイン/わたしの基地「わたしの思い」 11月28日：“みんなと同じ”が難しい子育て/子どもに関するモヤモヤ 2月20日：ぽぽらフェスティバル実行委員会モヤモヤ 3月25日：障害者モヤモヤ 3月25日：ボランティアモヤモヤ	【課題】 ゲストスピーカーの掘り起こしが必要。 【今後の対応】 登録団体にも目を向けて、団体活動や地域課題に目を向ける機会としても場を活用する方向性で検討。
12	フィールドリサーチ 団体訪問		○				◎	【目的】 活動実態や支援ニーズを現場訪問を通じて調査し、地域の人材を可視化していくことで市民活動の基盤を整備する。 【目標】 年4回実施	6月17日：レンガのお城美術館 10月22日：新堀川を育む会 12月19日：ＮＰＯ法人３ぶんの１ 2月4日：金崎区自治会 ※フィールドリサーチのページ ＜ https://kasukabe.genki365.net/G0000001/system/common_content3/897.html ＞	【課題】 定期的に行う地域への積極的な調査活動として、ヒアリング内容のレポートをホームページに掲載。 【今後の対応】 引き続き地域の活動現場を取材し、支援ニーズの聞き取りに努めていく。
13	施設利用の 活性化				◎			【目的】 市民活動団体への必要な支援として、施設の環境整備や機能の拡充、利便性の向上に取り組む。 【目標】 共同事務室での市民活動利用定期開催	・「おもちゃの病院」を共同事務室で定期開催（毎月第3日曜日） 安心安全メールでの告知を継続 ・「ぽぽらの本箱」中央図書館から借りた書籍貸出サービス継続 ・本の物々交換「まちかどライブラリー（本棚）」継続運用 ・館内掲示、市民参加情報掲示の工夫（立札で目立たせる） ・館内デコレーション、イルミネーションの実施（11/1～冬季限定） ・貸事務所入居団体「1件」（R7.12.1～）	【課題】 交流ミーティングスペースの利用については施設の設置目的を踏まえた上で柔軟な対応が必要。 【今後の対応】 引き続き館内各所の５Ｓ（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を徹底し、所管課と協議しながら環境整備を図る。
14	施設ＰＲ		◎		○			【目的】 藤まつりへの出展やふれあい大学の講義など、館外のイベントへの参加を通じて、センターの認知向上を図る。 【目標】 「春日部藤まつり」へ出展	4月27日：「春日部藤まつり」へ出展、けん玉チャレンジで粗品配布 11月12日：自治会研修会、市川アドバイザー対応 11月25日、26日：ふれあい大学へ講師を派遣。 登録団体の活動を事例にして「市民活動について」の講義を実施。	【課題】 市内イベントや講演依頼に積極的に参加していくことで、引き続き施設PRを行っていく。 【今後の対応】 藤まつりやふれあい大学等でのPRを継続して実施。

令和7年度 春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」実施事業一覧(6/6)

No	事業名	1	2	3	4	5	6	目的 目標	実施状況／実施内容等	課題と今後の対応策
15	シンポジウム		○			◎	○	【目的】 市民活動や地域課題、まちづくり等について、市民への啓発に取り組む。 【目標】 参加者30名以上	2月14日「自治会＊市民活動団体の可能性」シンポジウム 県民活動総合センターを運営する公益財団法人いきいき埼玉との共催事業として実施 参加者44名 １．基調講演「地域のつながりをどう守る？どう広げる？」 講師：小川孔美 氏埼玉県立大学社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 准教授 ２．事例発表 「つながる、広がる地域の絆 ～二人三脚で実現できたこと～ 」 金崎区 区長 中田 猛 氏 / 金崎区環境整備会 石崎 純一 氏 「メイあさかセンター 多様なスマホ出前講座」 認定･埼玉県指定NPO法人 メイあさかセンター 森本 剛志 氏 ３．参加者ワークショップ ファシリテーター 藤井 美登利 氏	【課題】 県内の様々な活動主体とつながりのある公益財団法人いきいき埼玉と企画段階から協力し、また農業振興課から自治会と市民活動の連携好事例を紹介していただくことにより、充実した内容となった一方、その成果が当日参加者のみに留まり、外部への情報共有が不足していた点が課題。 【今後の対応】 広報誌での報告に加え、動画等を活用した詳細な記録を残す。企画段階からの講師・登壇者の選定や、実施効果を最大化する情報共有の手法を再検討する。
16	活動見本市		○			◎		【目的】 登録団体が活動を振り返り、ステップアップするための機会とすると共に、団体同士が互いの活動を知る機会をつくる。 【目標】 参加35団体以上	1月19日～3月14日、交流ミーティングスペースにてパネル展示を実施 28団体参加 1/19～31：NPO 法人くらしの相談室/NPO法人埼玉消費者被害をなくす会 春日部九条の会/春日部脳Know カフェ/春日部玉藻 春日部市文化連合会/特定非営利活動法人つきぐるみ 2/ 1～14：ハンドセラピー輪/新堀川を育む会/公益社団法人自彊術普及会春日部支部 春日部ふれあい歴史塾/群生俳句会/Word・すずらんの会 NPO 法人子ども支援プラットフォーム 2/15～28：春日部市歩こう会/ボランティア集団「花」（影絵） 彩の国環境大学修了生の会/春日部おもちゃの病院/春日部笑おう会 埼玉市民劇場春日部サークル「麦わら帽子」 春日部ふれあいパソコンクラブ・春日部シニアふれあいPCサークル 3/ 1～14：一般社団法人春日部市身体障害者福祉会（失語症 友の会） ちりめんクラブ/ボーイスカウト春日部第9団/春日部観光ボランティアの会 春日部市ボランティア活動推進連絡会 春日部こどもライブフェスタ実行委員会/写団 銀悠	【課題】 28団体が参加し、パネル展示自体は盛況でしたが、来館者に対して「より多くの方に足を止めて見ていただく」ための動線や仕掛けに工夫の余地があった。 【今後の対応】 展示内容を写真や動画に収め、SNSを通じて積極的に広報することで、来館できない層へも活動内容を届ける。交流ミーティングスペースで学習している中高生などの若年層に対し、展示に関するアンケートを実施し、多世代に響く活動の訴求方法を再考する。さらに、単なる「掲示」に留まらず、展示内容を見た人が気軽に反応したり、団体とつながるきっかけ（QRコードの活用やメッセージカードの設置など）を作ることにより、活動への参加意欲を高める工夫を検討する。